

収穫適期は平年並みの見込み！ 高品質麦を目指しましょう！

令和元年 5月 17日
川越農林振興センター
J A いるま野

気象庁5月9日発表の1か月予報(5/11～6/10)では、暖かい空気に覆われやすく、向こう1か月の気温は高くなる予想で、降水量と日照時間はほぼ平年並の予想です。

高水分で収穫した麦や倒伏等により穂発芽した麦は、品質低下となり加工適性への影響がありますので、計画的な収穫・乾燥作業を行い、高品質麦を目指しましょう。

1 小麦の収穫適期の判定方法

穂首からわん曲し始めたころが収穫適期で、成熟期の3～4日後が目安になります。

穀粒水分は、30%以下で刈り取り作業を行きましょう。

※成熟期の目安は、全穂数の80%以上が次のようになった時です。

- ・茎葉、穂首が黄化する
- ・穂軸、粒の緑色が抜ける
- ・粒にツメ跡がわずかにつき、ほぼロウぐらいの堅さになる

2 収穫期の目安

収穫期は、ほぼ平年並みの見込みです(昨年より遅い)。しかし、今後の天候やほ場条件などにより収穫時期は変わります。下記の「収穫期の予想」を参考にほ場ごとによく確認をしましょう！！

品 種	播 種 期	出 穂 期	収穫期の予想
さとのそら	11月中旬	4月21日頃	6月5日頃から
	12月上旬	4月24日頃	6月8日頃から
ハナマンテン	11月中旬	4月20日頃	6月7日頃から
	12月上旬	4月23日頃	6月9日頃から

3 雑草種子の混入防止

「カラスムギ」や「カラスノエンドウ」は収穫前に除去しましょう。

4 赤かび病等発生ほ場の対応

「赤かび病」や「なまぐさ黒穂病」の発生がある場合は、刈り分けや個別乾燥の対応が必要です。